

Portable MiniDisc Recorder

取扱説明書

JP

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくだ
さい。

使用説明書

CT

XXXX

KR



MZ-R55

主な特長

本機は、ソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクレコーダーです。

- 再生専用MDウォークマン並みの超小型ボディに、録音機能を凝縮ポケットやバッグに入る携帯に便利なサイズ・軽さの、録音機能付きMDウォークマンです。
- ガム型充電電池1本で使える省電力設計
- 録音しながら文字入力ができる、「ながら入力機能」搭載
MDを録音中に、曲名やディスク名が入力できて便利です。
- MD編集ができる新開発の9文字対応、光る液晶リモコン
簡単操作のスティックコントローラリモコンで、曲名や、ディスク名を入力したり、曲順を変えるなどの編集操作が、簡単にできます。
- 約40秒の長時間音飛びガードメモリー搭載
- 高音質の録音
光デジタル入力端子からの録音によりノイズやひずみの少ない高音質の音楽を楽しめます。
- デジタルシンクロ録音
光デジタル出力があるデジタル機器とつないで録音するとき、再生機側の操作に合わせて、録音開始や一時停止を自動で行います。

- サンプリングレートコンバーター内蔵BSチューナーやDATなどのデジタル機器をつないで、デジタル信号のまま録音・編集することができます。
- デジタルAGC搭載
デジタルならではの音のクオリティを維持しながら、録音時のわずらわしいレベル設定を自動的に行います。
- モノラルモードでの長時間録音
最大148分まで録音ができます。
- デート機能
録音した日時を自動的に記録します。
- タイトル表示機能
ディスク名や曲名を本体やリモコンの表示窓で見ることができます。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

MD WALKMANは、ソニー株式会社の商標です。

☞ は知っている便利な情報のマークです。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel.03-5353-0336)



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

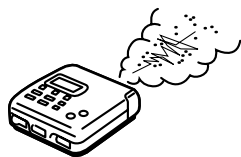
1年に1度は、ACパワーアダプターや充電器のプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電器などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大げな人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	5
各部のなまえ	8
録音する	10
再生する	11

いろいろな録音のしかた 12

録音もとの機器との2種類の接続のしかた （デジタル入力とアナログ入力）	12
デジタル入力で録音する	13
再生側に合わせて録音を始める / 止める（シンクロ録音）	13
マイクで録音する	14
長時間録音する（モノラル録音）	14
手で録音レベルを調節する（マニュアル録音）	15
録音日時を記録する（時計合わせ）	15

いろいろな再生のしかた 16

くりかえし聞く（リピート再生）	16
お持ちのシステムで聞く	16

編集する 17

曲を消す	17
1曲を消す	17
全曲を消す	17
頭出しマーク（曲番）をつける	18
頭出しマーク（曲番）を消す	18
曲順を変える（ムープ）	18
本体で操作する	18
リモコンで操作する	19
曲名やディスク名をつける	19
本体で操作する	19
リモコンで操作する	20

電源について 22

ニッケル水素電池で使う	22
充電する	22
ニッケル水素電池で使う	23
乾電池で使う	23

その他 24

メッセージ一覧	24
---------	----



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**
により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



接触禁止

指定以外の充電器やACパワーアダプター、
カーバッテリーコードなどを使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



禁止

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない
火災や爆発の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電器をさわらない

感電の原因となることがあります。



接触禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



禁止

通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド

(Ni-Cd)

ニッケル水素

(Ni-MH)

リチウムイオン

(Li-ion)

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

リチウムなど

危険 (この項目は充電式電池のみ適用となります)

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- リチウムイオン電池は火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い

使用済みニカド電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

各部のなまえ

(英文取扱説明書39～41ページのイラスト参照)

本体

- 1 END SEARCH ボタン
- 2 RECランプ
- 3 DISPLAYボタン
再生・録音状態や、再生中の曲の残り時間、ディスクの残り時間、ディスク名、曲名¹⁾などを表示します。
- 4 表示窓
- 5 DC IN 3Vジャック(背面)
- 6 MODEボタン
再生時は、押すたびに通常の再生、全曲リピート、1曲リピート、シャッフルリピートの順に変わります。録音時は、ステレオ録音とモノラル録音の切り換えをします
- 7 ◀◀(頭出し、早戻し)/▶▶(頭出し、早送り)ボタン
◀◀: 押すたびに再生中の曲の頭、前の曲の頭へと移ります。再生中に押し続けると、早戻しして聞きたい箇所を探せます。
▶▶: 押すたびに次の曲の頭に移ります。再生中に押し続けると、早送りして聞きたい箇所を探せます。
- 8 LINE IN (OPTICAL) ジャック
- 9 MIC (PLUG IN POWER) ジャック
- 10 MIC SENSスイッチ(底面)
- 11 LINE OUTジャック
- 12 DIGITAL MEGA BASSボタン
低音域を強調します。
- 13 ■(停止)/CHARGEボタン

- 14 ▶(再生)ボタン
- 15 電池入れ(背面)
- 16 EDIT/ENTER ボタン
- 17 AVLSスイッチ(底面)
LIMITにすると、ヘッドホンの音もれを抑えます。
- 18 SYNCHRO RECスイッチ
デジタル入力時、再生側の操作で自動的にデジタル録音します。
- 19 VOLUME +/- ボタン
AVLSスイッチがLIMITになっていると、音量を調節しても一定のレベル以上大きくなりません。さらに音量を上げるときは、AVLSスイッチをNORMにしてください。
- 20 T MARK(曲番)ボタン
- 21 ■(一時停止)ボタン
- 22 RECスイッチ
- 23 OPEN(ディスク取り出し)ボタン
- 24 HOLD スイッチ
右にずらすと本体のボタンがきかなくなり、本体の誤動作を防ぎます。
- 25 CLOCK SET ボタン(底面)
- 26 ◯/REMOTE ジャック

¹⁾ 文字情報を記憶しているディスクのときのみ表示します。

表示窓

- 1 文字情報表示部
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。
- 2 モノラル表示

- ③ 再生状態表示
ディスクの再生状態を表示します。
◀ (全曲リピート): ディスクの全曲をくり返し再生します。
◀ 1 (1曲リピート): 再生中の曲をくり返し再生します。
◀ SHUF (シャッフルリピート): 全曲を順不同にくり返し再生します。
- ④ シンクロ録音表示
シンクロ録音時に表示されます。
- ⑤ ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。
- ⑥ 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- ⑦ 午前/午後表示
時刻が12時間表示のときに表示されます。
- ⑧ メガベース表示
- ⑨ 電池残量表示
充電電池や乾電池の残量を表示します。
- ⑩ REMAIN表示
ディスクの残り曲数、ディスクや曲の残り時間を表示していることを示します。
- ⑪ REC DATE表示
表示窓に録音日時が出ているときに表示されます。
- ⑫ 時刻/時間表示
録音時刻、現在時刻、曲の再生時間、曲やディスクの残り時間を示します。
- ⑬ レベル表示
録音時には入力レベルを、再生時には再生音のレベルを表示します。

リモコン部

- ① ヘッドホン
別売りのヘッドホンに付け替えられます。
- ② ステレオミニプラグ
- ③ ■ (停止) ボタン
- ④ 回転つまみ
停止中に▶・▶▶側に回すと再生、再生中に▶・▶▶側に回すと頭出し、回したままにすると早送り、再生中に◀◀◀側に回すと頭出し、回したままにすると早戻しとなります。
- ⑤ HOLDスイッチ
リモコンのボタンが働かなくなり、リモコンの誤動作を防ぎます。
- ⑥ || (一時停止) ボタン
- ⑦ PLAY MODE ボタン
- ⑧ DISPLAY ボタン
- ⑨ VOL (音量) + / - ボタン
- ⑩ TRACK MARK ボタン
録音中に頭出しマークをつけます。
- ⑪ 表示窓

録音する

(英文取扱説明書6~7ページのイラスト参照)

録音する音はアナログ信号で送られますが、デジタル方式で記録されます。また、録音はステレオ録音になります。デジタル機器につないで録音するときには、「デジタル入力で録音する」(13ページ)をご覧ください。

1 つなく。(しっかりとつないでください)

- ① 本機のLINE IN (OPTICAL)ジャックと、録音もとの機器の出力(アナログ)ジャックを接続コードRK-G129 (別売り)などでつなぐ。

ステレオミニジャックのある機器と接続するときは、接続コードRK-G136 (別売り)をお使いください。

入力は自動的にアナログになります。

- ② ACパワーアダプター(付属)を本機のDC IN 3Vジャックとコンセントにつなぐ。

2 録音用ミニディスクを入れる。

- ① OPENボタンを押して、手でふたを開ける。
- ② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。

3 録音する。

- ① RECスイッチを右にずらす。
「REC」表示が点灯し、録音が始まります。録音される音の大きさは自動的に調節されます。
- ② 録音したいCDやテープを再生する。

止めるには、■ボタンを押す。
「Data Save」「Toc Edit」表示が点滅し、録音した曲の情報(曲の開始・終了位置など)をディスクに記録します。表示の点滅中は、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。

こんなときは	操作
一時停止する	■を押す。 ¹⁾ もう一度押すと一時停止は解除されます。
録音済み部分の後ろに新しい録音をする	END SEARCHを押してからRECスイッチを右にずらす。
録音した内容の途中から新しく録音する	▶▶▶または◀◀◀を押して録音を始めた位置で■を押す。次にRECスイッチを右にずらす。
ディスクを取り出す	■を押してから本体のOPENボタンを押してふたを開ける。 ²⁾

¹⁾ 録音中に一時停止したところで曲番が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

²⁾ ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります。

ACプラグアダプターが付属されている場合ACパワーアダプターのプラグがコンセントに合わないときは、ACプラグアダプターをお使いください。

録音が始められないときは

- ホールド機能が働いていませんか。HOLDスイッチを矢印と逆方向にずらしてください。
- ディスクが誤消去防止の状態になっていませんか。誤消去防止つまみをずらして穴を閉じてから使います。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

ご注意

動作中に電池をはずしたり、ACパワーアダプター電源を切ったり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。

再生する

(英文取扱説明書8～9ページのイラスト参照)

充電式電池、乾電池でも使えます(22～23ページ)。ステレオ/モノラルは自動的に切り換わります。

1 つなぐ。(しっかりとつないでください)

- ① ACパワーアダプター(付属)を本機のDC IN 3Vジャックとコンセントにつなぐ。
- ② リモコン付きヘッドホン(付属)を \odot /REMOTEジャックにつなぐ。

2 ミニディスクを入れる。

- ① OPENボタンを押して、手でふたを開ける。
- ② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。

3 聞く。

- ① \blacktriangleright ボタンを押す。(リモコンでは回転つまみを $\blacktriangleright \bullet \blacktriangleright$ 側に回す) リモコンで操作すると「ピ」と確認音がします。
- ② VOLUME (リモコンではVOL) + / - ボタンを押して音量を調節する。
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、 \blacksquare ボタンを押す。
リモコンで操作すると「ピー」と確認音がします。

こんなときは	操作(リモコンの確認音)
一時停止する	\mathbb{II} を押す(ピ・ピ・ピ)もう一度押すと一時停止は解除されます。
今聞いている曲を頭出しする	\lll を短く押す リモコンでは回転つまみを \lll 側に回す(ピピピ)
次の曲を頭出しする	\ggg を短く押す リモコンでは回転つまみを \ggg 側に回す(ピピ)
再生しながら早戻しする ¹⁾	\lll を押したままにする リモコンでは回転つまみを \lll 側に回したままにする
再生しながら早送りする ¹⁾	\ggg を押したままにする リモコンでは回転つまみを \ggg 側に回したままにする
ディスクを取り出す	\blacksquare を押してから、本体のOPENボタンを押してふたを開ける ²⁾

¹⁾ 一時停止(\mathbb{II})して \lll または \ggg を押したままにする(リモコンでは回転つまみを回したままにする)と、再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しができます。

²⁾ ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

ACプラグアダプターが付属されている場合ACパワーアダプターのプラグがコンセントに合わないときは、ACプラグアダプターをお使いください。

再生が始められないときは
ホールド機能が働いていませんか。HOLDスイッチを矢印と逆方向にずらしてください。

別売りのヘッドホンを使う場合はステレオミニプラグのものをお使いください。アラカルトヘッドホン(マイクロプラグ)は使えません。

ご注意

- ジョギング中など、連続的な振動が加わる状況で使用すると、再生中に音飛びすることがあります。
- 動作中に電池をはずしたり、ACパワーアダプター電源を切ったり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたが開かないことがあります。

▶いろいろな録音のしかた

録音もとの機器との2種類の接続のしかた

(デジタル入力とアナログ入力)

本機ではデジタル入力とアナログ入力をLINE IN (OPTICAL)ジャックで兼用しています。本機をCDプレーヤーやラジカセなど録音もとの機器とつなぐには、光デジタル入力を使う接続とアナログ入力(LINE)を使う接続の2つの方法があります。

それぞれの録音のしかたは、光デジタル入力を使うときは「デジタル入力での録音する」(13ページ)、アナログ入力(LINE)を使うときは「録音する」(10ページ)をご覧ください。

デジタル入力とアナログ入力の比較

	入力の種類	光デジタル入力	アナログ入力(LINE)
相違点			
接続できる機器		光デジタル出力ジャックのある機器	出力(LINE OUT)ジャックのある機器
使用するコード		デジタルケーブル(角形プラグまたはミニプラグ)	接続コード(ピンプラグまたはステレオミニプラグ)
録音もとのから送られる信号		デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もともとしても、本機にはアナログ信号として送られる。
録音の結果	マーク(曲番)	・録音もとのと同じ場所に自動的につく。 ・録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください(「頭出しマーク(曲番)を消す」18ページ)。	・2秒以上の無音や小さな音が続いた場所につく。 ・録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください(「頭出しマーク(曲番)を消す」18ページ)。
	録音される音の大きさ	録音もとのと同じ	自動調節される。 手動でも調節できます(「手動で録音レベルを調節する」15ページ)。

ご注意

次のような場合は、録音もとのと同じ場所に曲番が記録されないことがあります。

- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、デジタル入力での録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにしてデジタル入力での録音する場合(このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてミニディスクに録音してください。)
- BS、CS放送の番組をデジタル入力での録音する場合

デジタル入力で録音する (光デジタルケーブルが必要)

(英文取扱説明書11ページのイラスト参照)

本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、光デジタル出力のあるDATデッキやBSチューナーなど、サンプリング周波数の違うデジタル機器と光デジタルケーブルでつなぐとデジタル録音できます。

- 1 本機のLINE IN(OPTICAL)ジャックと、録音もとの機器の光デジタル出力ジャックをデジタル接続ケーブル(別売り)でつなぐ。
入力は自動的にデジタルになります。
- 2 電源をつなぐ。
家庭用電源を使うときは、「録音する」(10ページ)、その他の電源については「電源について」(22~23ページ)をご覧ください。
- 3 録音用ミニディスクを入れ、録音を始める。
録音の操作は「録音する」(10ページ)を参照してください。ポータブルCDプレーヤーから録音するときは、CDプレーヤーを一時停止してから録音の操作をしてください。

止めるには、■ボタンを押す。

ご注意

- 「Data Save」「Toc Edit」表示の点滅中は、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。
- 光(OPTICAL)タイプ以外のデジタル出力には接続できません。

- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
 - ACパワーアダプター電源でないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。
 - ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
 - 音飛びガード機能(ESPなど)は「切」にしてください。

再生側に合わせて録音を始める / 止める

(シンクロ録音)

(英文取扱説明書11ページのイラスト参照)

録音もとと本機のそれぞれを操作する手間を省き、簡単に録音できます。
録音を始める前に、光デジタルケーブルを使って本機と録音もとのデジタル機器をつなぎ、録音用ミニディスクを入れてください。

- 1 SYNCHRO RECスイッチをONにする。
「SYNC」が表示されます。
- 2 RECスイッチを右にずらし、録音を始める。
録音一時停止になります。
- 3 録音もとの機器の再生を始める。
再生側の音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

止めるには、■ボタンを押す。

次ページへつづく



- ・シンクロ録音中は、手動で一時停止することはできません。
- ・シンクロ録音中に録音もとで3秒間以上の無音が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

ご注意

- ・手順2の後では、SYNCHRO RECスイッチを切り換えしないでください。正しく録音されないことがあります。
- ・モノラル録音するときは、「長時間録音する」(14ページ)の手順1と2を行ってからシンクロ録音を行ってください。
- ・シンクロ録音中に録音もとで無音状態が続いても、録音もとのノイズレベルが原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。

マイクで録音する

(英文取扱説明書12ページのイラスト参照)

- 1 マイクをMIC(PLUG IN POWER)ジャックにつなぐ。
ステレオマイクECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957など(別売り)をお使いください。

ご注意

デジタル接続ケーブルがLINE IN(OPTICAL)ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。

- 2 電源をつなぐ。
家庭用電源を使うときは、「録音する」(10ページ)をご覧ください。その他の電源については、「電源について」(22~23ページ)をご覧ください。

- 3 MIC SENSスイッチでマイク感度を切り換える。

通常は、HIGHに合わせます。ライブ録音など大音量を録音するときはLOWに合わせてください。

- 4 録音用ミニディスクを入れて、録音を始める。

「REC」表示が点灯し、録音が始まります。

止めるには、■ボタンを押す。

ご注意

- ・「Data Save」「Toc Edit」表示の点滅中は、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。
- ・本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。

長時間録音する

(モノラル録音)

(英文取扱説明書13ページのイラスト参照)

録音を始める前に、録音もとの機器と電源に接続し、録音用ミニディスクを入れてください。

- 1 ■ボタンを押しながらRECスイッチを右にずらし、録音一時停止にする。
- 2 MODEボタンを押し、モノラル録音にする。
「Mono REC」が表示されます。ステレオ録音に戻すには、もう一度MODEボタンを押します。
- 3 ■ボタンを押して録音を始める。
- 4 録音する音を出す。

止めるには、■ボタンを押す。
次に録音するときはステレオ録音に戻ります。

ご注意

- 「Data Save」「Toc Edit」表示の点滅中は、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。
- ステレオで送られる音をモノラルで録音すると、左右のチャンネルの音がミックスして録音されます。
- シンクロ録音を「OFF」にしてから操作を初めてください。「ON」になっているとモノラル録音できません。
- 本機でモノラル録音した内容は、他のモノラル再生に対応していない機器では再生できません。
- デジタル入力で録音中の音は、ヘッドホン端子、LINE OUTジャックからステレオ音声で出力されます。

手動で録音レベルを調節する (マニュアル録音)

(英文取扱説明書13~14ページのイラスト参照)

アナログ入力(LINE)から録音するときは、録音レベルは最適な値になるように自動的に調節されますが、必要に応じて手動で調整できます。

- 1 ■ボタンを押しながら、2秒間RECスイッチを右にずらしたままにする。
録音一時停止になり、「ManualREC」が表示されます。自動調節に戻すには、一時停止の状態でもう一度2秒間RECスイッチを右にずらしたままにします。
- 2 録音したい音を出す。

- 3 表示窓を見ながら、▶▶(+)または◀◀(-)ボタンを押して録音レベルを調節する。

録音レベルは、一番大きな音が入ったときに、-12dBのバーが点灯するように調節します。

次の操作でマニュアル録音を始めると、録音レベルは調節できなくなります。レベルの調節は一時停止中にしてください。

- 4 ■ボタンを押して録音を始める。

止めるには、■ボタンを押す。
次に録音するときは、録音レベル調節は自動調節に戻ります。



マイクで録音するときは必要に応じてMIC SENSを切り換えてください(14ページ)。

録音日時を記録する

(時計合わせ)

(英文取扱説明書16ページのイラスト参照)

時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が自動で記録されます。

- 1 付属のACパワーアダプターをつなぐ。
- 2 CLOCK SETボタンを押す。
シャープペンの先など細いもので押します。西暦年の数字が点滅します。
- 3 ◀◀または▶▶ボタンを押して年を合わせる。
ボタンを押し続けると数字が速く進みます。

次ページへつづく

- 4 ▶ ボタンを押して確定する。
月の数字が点滅します。
- 5 手順3、4をくりかえして月、日、時、分を合わせる
分を合わせて▶ ボタンを押すと時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは

■ボタンを押し、もう一度手順2からやり直してください。変更する必要のない数字は▶ ボタンを押して先に進めます。

現在の日時を表示するには

本機が動作していないときまたは録音中に、日時を表示するまでDISPLAYボタンをくり返し押します。

時計を24時間表示に変えるには

時計合わせ中に、DISPLAYボタンを押します。もう一度押すと12時間表示に戻ります。

本体内蔵の時計用電源を充電してください

初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、本体内蔵の時計用電源を充電してください。ACアダプターを約2時間コンセントにつないだままにして充電します。(その間も本機をお使いになれます。)その後は、コンセントや充電式電池、乾電池のいずれかの電源が見つからないであれば、自動的に充電されるのであらためて充電する必要はありません。電源がなくても、時計用電源は約1か月間持続します。

▶いろいろな再生のしかた

くりかえし聞く

(リピート再生)

(英文取扱説明書17ページのイラスト参照)

再生中にMODE (リモコンではPLAY MODE)ボタンを押す。
押すたびに次のように変わります。

表示	再生状態
-	通常の再生
↶	ディスク全曲をくり返し再生
↶ 1	再生中の曲をくり返し再生
↶ SHUF	全曲を順不同に並びかえて再生し、さらにくり返し並びかえて再生

お持ちのシステムで聞く

(英文取扱説明書20ページのイラスト参照)

接続コードRK-G129またはRK-G136(別売り)をLINE OUTジャックにつなぐ。

出力はアナログです。本機はデジタル方式で再生しますが、接続する機器にはアナログ信号で送られます。

ご注意

LINE OUTジャックに接続コードをつなぐと、メガベースは動きません。メガベースを働かせていても、自動的に解除されます。

▶編集する

ミニディスクに頭出しマーク(曲番)をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。再生専用ミニディスクの編集はできません。次の点にご注意ください。

ご注意

- ・「Toc Edit」表示の点滅中は、衝撃を与えたり電源を抜いたりしないでください。
- ・誤消去防止つまみが開いているディスクでは、編集できません。つまみをもとに戻してください。

曲を消す

(英文取扱説明書21ページのイラスト参照)

1曲を消す

一度消した曲はもとに戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。

- 1 消したい曲の再生中に、本体のEDIT/ENTERボタンを押す。
「♪ : Name」が点滅し、1曲リピート再生になります。
- 2 ◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押し、
「♪ : Erase」を点滅させる。
- 3 EDIT/ENTERボタンをもう一度押す。
表示窓に「ERASE OK?」と「Push ENTER」が交互に表示されます。消すのを中止するときは、
■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

- 4 表示窓で曲番を確認し、もう一度EDIT/ENTERボタンを押す。
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

曲の一部分を消すには

不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて、その部分を消します。

全曲を消す

ディスク上のすべての曲を消します。一度消したディスクはもとに戻すことはできません。必ずディスクの内容を確認しておいてください。

- 1 停止中に、本体のEDIT/ENTERボタンを押す。
「☉ : Name」が点滅します。
- 2 ◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押し、
「☉ : Erase」を点滅させる。
- 3 EDIT/ENTERボタンをもう一度押す。
表示窓に「All Erase?」と「Push ENTER」が交互に表示されます。消すのを中止するときは、
■ボタンまたはT MARKボタンを押します。
- 4 EDIT/ENTERボタンをもう一度押す。
「Toc Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると
「BLANK DISC」と表示されます。

頭出しマーク（曲番） をつける

（英文取扱説明書22ページのイラスト参照）

曲の途中に頭出しマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。

- 1 再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でT MARKボタンを押す。

録音中にマークをつけることもできます。録音中（シンクロ録音を除く）にT MARKボタンを押してください。また、リモコンのTRACK MARKボタンを使うこともできます。ただし、リモコンは録音時のみです。

頭出しマーク（曲番） を消す

（英文取扱説明書22ページのイラスト参照）

アナログ入力やマイク入力で録音したときは、静かな音が続く部分などに不要な頭出しマークがつくことがあります。その場合は、頭出しマークを消すと、前後の曲を1つの曲にまとめることができます。

- 1 曲番を消したい曲の再生中に■ボタンを押して一時停止にする。
- 2 ◀◀ボタンを短くチョンと押して、曲の先頭(00:00)にする。
- 3 T MARKボタンを押す。

「MARK OFF」が表示され、指定

した曲が前の曲につながります。

曲順を変える（ムーブ）

曲を移動して、曲順を変更できます。

本体で操作する

（英文取扱説明書23ページのイラスト参照）

- 1 移動したい曲の再生中に、EDIT/ENTERボタンを押す。

「♪ : Name」が点滅し、1曲リピート再生になります。

- 2 ◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押し、
「♪ : Move」を点滅させる。

- 3 EDIT/ENTERボタンをもう一度押す。

- 4 ◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押し、移動先の曲番を指定する。

途中で中止するときは■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

- 5 EDIT/ENTERボタンを押す。
指定した曲の前に移動したい曲が移ります。

リモコンで操作する

(英文取扱説明書23ページのイラスト参照)

- 1 移動したい曲の再生中に、DISPLAYボタンを2秒以上押し続けたままにする。
「 : Name」が点滅し、1曲リピート再生になります。
- 2 回転つまみを回して、表示窓に「 : Move」を表示させる。
- 3 ■ボタンを押す。
- 4 回転つまみを回して、移動先の曲番を指定する。
途中で中止するときはTRACK MARKボタンを押します。
- 5 ■ボタンを押す。
指定した曲の前に移動したい曲が移ります。


曲名やディスク名をつける

再生中は曲名、停止中はディスク名、録音中は曲名・ディスク名をつけることができます。曲名やディスク名は、それぞれ200文字までつけることができます。1枚のディスクには、再生・停止中に合計約1700文字まで入力できます。また、1回の録音中では、約500文字まで入力できます。

本体で操作する

(英文取扱説明書24ページのイラスト参照)

停止中にディスク名を入力する

- 1 ディスクを入れる。
すでに入っているディスクのディスク名をつけるときは、■ボタンを押して停止します。
- 2 EDIT/ENTERボタンを押す。
「 : Name」が点滅します。
- 3 EDIT/ENTERボタンをもう一度押す。
- 4 ◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押し、▶ボタンを押して確定する。
確定すると、選んだ文字が点灯に変わり、次の文字位置でカーソルが点滅します。

次ページへつづく

ボタン	機能
II	アルファベット 記号と数字の順に切り替わる。
VOLUME + / -	文字カーソルを左右に移動する。
◀◀/▶▶	▶▶を押すと、1文字ずつ変わる。◀◀を押すと戻る。
DISPLAY	記入位置に空白を挿入し、1文字分の文字を追加できる。
MODE	記入位置の文字を削除し、以降の文字を1文字ずつつめる。
■	タイトルをつけるのを中止する。
T MARK	タイトルをつけるのを中止する。

- 手順4を繰り返して名前をつける。
- EDIT/ENTERボタンを押す。
曲名またはディスク名がつかます。

再生中に曲名を入力する

- ディスクを入れて曲名をつけた曲を再生する。
- EDIT/ENTERボタンを押す。
「♪ : Name」が点滅します。
- EDIT/ENTERボタンをもう一度押す。
- 「停止中にディスク名を入力する」(19~20ページ)の手順4から6と同様の操作をする。

録音中に曲名・ディスク名を入力する

- 録音中にEDIT/ENTERボタンを押す。
「♪ : Name」が点滅します。
- 曲名を入力するには、EDIT/ENTERボタンをもう一度押す。
ディスク名を入力するには、◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押して、
「☉ : Name」が点滅するのを確認し、EDIT/ENTERボタンを押します。
- 「停止中にディスク名を入力する」(19~20ページ)の手順4から6と同様の操作をする。

止めるには、■ボタンまたはT MARKボタンを押す。

ご注意

録音中に曲名・ディスク名を入力しているときに録音が終了したときや、曲名入力しているときに次の曲が始まったときは、その時点の入力が自動的に確定します。

リモコンで操作する

(英文取扱説明書25ページのイラスト参照)

停止中にディスク名を入力する

- ディスクを入れる。
すでに入っているディスクのディスク名をつけるときは、■ボタンを押して停止します。
- DISPLAYボタンを2秒以上押す。
「☉ : Name」が点滅します。

- 3** ■ボタンを押す。
ディスク名の入力準備状態になります。
- 4** 回転つまみを回して、文字を選び、■ボタンを押して確定する。
確定すると、選んだ文字が点灯に変わり、次の文字位置でカーソルが点滅します。

ボタン	機能
	アルファベット 記号と数字の順に切り替わる。
VOL + / -	文字カーソルを左右に移動する。
◀◀ / ▶▶	回転つまみを▶▶側に回すと1文字ずつ変わる。◀◀側に回すと戻る。
DISPLAY	記入位置に空白を挿入し、1文字分の文字を追加できる。
PLAY MODE	記入位置の文字を削除し、以降の文字を1文字ずつつめる。
TRACK MARK	タイトルをつけるのを中止する。

- 5** 手順4を繰り返して名前をつける。
- 6** ■ボタンを2秒以上押したままにする。
曲名またはディスク名が付きま

再生中に曲名を入力する

- 1** ディスクを入れて曲名をつけた曲を再生する。
- 2** DISPLAYボタンを2秒以上押す。
「♪ : Name」が点滅します。
- 3** ■ボタンを押す。
ディスク名の入力準備状態になります。
- 4** 「停止中にディスク名を入力する」(20~21ページ)の手順4から6と同様の操作をする。

録音中に曲名・ディスク名を入力する

- 1** 録音中にDISPLAYボタンを2秒以上押す。
「♪ : Name」が点滅します。
- 2** 曲名を入力するには、■ボタンを押す。
ディスク名を入力するには、回転つまみを◀◀側または▶▶側に回して「🎧 : Name」が点滅するのを確認し、■ボタンを押します。
- 3** 「停止中にディスク名を入力する」(20~21ページ)の手順4から6と同様の操作をする。

ご注意

録音中に曲名・ディスク名を入力しているときに録音が終わったときや、曲名入力をしているときに次の曲が始まったときは、その時点の入力が自動的に確定します。

止めるには、TRACK MARKボタンを押す。

入力できる文字

- ・ アルファベットA～Zの大文字、小文字
- ・ 数字0～9
- ・ 記号 ! " # \$ % & () * . ; < = > ? @ _ ` ' + - , / :
_ (スペース)

名前を変えるには

手順1から3を行って、変更したい曲名またはディスク名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、EDIT/ENTERボタン(リモコンでは■ボタンを2秒以上)を押します。

ご注意

市販のソフトや録音していないディスクに、曲名やディスク名をつけたり、書き換えをすることはできません。


▶電源について

ニッケル水素電池で使う

付属の充電式ニッケル水素電池を、お使いになる前に必ず充電してください。

充電する

(英文取扱説明書27ページのイラスト参照)

- 1 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 本体に充電式ニッケル水素電池(付属)を入れる。
- 3 ■/CHARGEボタンを押す。
「Charging」が点滅し、の表示が出て、充電が始まります。表示が消えたら充電完了です。
充電時間は、放電しきった状態から十分に充電するまでに約3時間かかります。充電の途中で中止したいときは■/CHARGEボタンを押します。
- 4 ACパワーアダプターをはずす。
つないでいると、コンセントからの電源になります。
電池の持続時間は再生時間約4時間、録音時約2.5時間です。

ご注意

- 充電中に他の操作はできません。
- 充電には必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかったあとでは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放電をくり返すと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池を十分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電式電池を持ち運ぶときは付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットやバッグなどに入れると、電池の+と-がショートして危険です。
- 長い間使用しないときは、充電式電池を本体から取り出しておいてください。

ニッケル水素電池で使う

(英文取扱説明書28ページのイラスト参照)

お使いになる前に必ず充電しておいてください。

- 1 充電したニッケル水素電池を+-を正しく入れる。

乾電池で使う

(英文取扱説明書28ページのイラスト参照)


付属の外付けバッテリーケースを使いません。

- 1 バッテリーケースを取り付ける。
- 2 乾電池を入れる。
電池の持続時間は再生時約10時間、録音時は使用する電池の種類によって異なります。

ご注意

- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を一緒に使用しないでください。
- 電池を交換するときは、いったん停止させてから交換してください。
- 乾電池を交換するときは、2本同時に新しい電池と交換してください。
- 本機は乾電池1本だけでも動作しますが、正常に動作しないことがありますので、必ず2本で使用してください。

電池交換の目安について

電池が消耗すると、本体やリモコンの表示窓にが点滅したり、または「LOW BATT」が表示されます。新しい電池と交換するか、充電しなおしてください。

▶その他

メッセージ一覧

表示窓にエラー表示が出たら、チェックしてみてください。

エラー表示	意味 / 対策
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている(再生・編集時)。他のディスクと取り換える。
DISC ERR	損傷しているディスク、録音や編集の内容などの情報が入っていないディスクが入っている。ディスクを入れなおす。録音しなおす。
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒以下である(録音時)。他の録音用ディスクと取り換える。
Data Save	録音した情報(音声)をメモリーからディスクに記録している。しばらく待つ(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
Toc Edit	録音した情報(曲の開始・終了位置など)をメモリーからディスクに記録している。しばらく待つ(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。しばらく待つ。まれに、1分ほどかかる場合があります。

エラー表示	意味 / 対策
NAME FULL	曲名やディスク名を200文字を超えて入力しようとした。再生・停止中に曲名やディスク名を1700文字を超えて入力しようとした。1回の録音中に曲名やディスク名を500文字を超えて入力しようとした。文字数の制限内で入力する。
Hi DC in	電源電圧が高い(指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない)。指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。HOLDスイッチを矢印と逆方向にしてホールド機能を解除する。
LOW BATT	電池が消耗した。充電電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える。
MEM OVER	表示窓に何も表示されていないときに、振動のあるところで録音を始めた。振動のないところで録音をし直す。
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)によりダビングは禁止されている。アナログ入力(LINE IN)を使って録音する。
NO DISC	ディスクが入っていない。ディスクを入れる。
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力するときは無視する。

エラー表示	意味 / 対策
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている(録音・編集時)。録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている。誤消去防止つまみを戻す。
SORRY	ディスクの1曲目の頭で、頭出しマークを消そうとした。 種類異なる曲と曲の頭出しマークを消そうとした(例えばステレオ録音された曲とモノラル録音された曲の頭出しマークを消そうとした)。 LINE OUTジャックに接続コードが繋がれているときに、DIGITAL MEGA BASSボタンを押した。 シンクロ録音中に■ボタンまたはT MARKボタンを押した。
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TR FULL	曲数が254を越えた。曲番を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト(曲の誤消去防止)がかかっている曲に録音・編集をしようとした。他の曲で録音・編集する。
EDITING	リモコンで編集中に本体キーのどれかを押した。または本体で編集中にリモコンキーのどれかを押した。

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

Sony Corporation Printed in Japan

